

第2回ワークショップ 「～意見交換～」

ワークショップを
より良くしていくために！



令和3年10月31日(日)、第2回「狛江市民センター改修を考える市民ワークショップ」を開催し、総勢12名の方にご参加いただきました。

現在、狛江市では市民センターの改修、新図書館の整備について検討を進めており、本ワークショップは、改修後の市民センターに導入される機能やスペース等についてご意見をいただくことを目的としています。

今回は、参加いただいた皆様からの調査結果やワークショップの手法などへの様々な意見や質問が中心となり、グループワークの実施に至りませんでした。今回いただいたご意見は今後のワークショップ運営に活かしてまいります。

第3回のワークショップは、令和3年12月12日(日)開催。テーマは「新しい市民センターに必要な設備・機能を考えよう！」で、第4回のワークショップは、令和4年1月23日(日)開催。テーマは「部屋の配置・部屋の面積を考えよう」を予定しています。

第2回市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）と回答

ご意見

<基礎調査結果に関して>

- web アンケートは抜粋版だけでなく自由記述欄も配付し、全ての意見を開示してほしい。
- web アンケートの結果を基にした議論の場はあるのか。
- 利用者アンケートに関して、統計的なデータのみしか示されていない。自由記述の内容をどのようにワークショップに反映していくのか。

<図書館検討スケジュールとの関係>

- 現状のスケジュールだと図書館の概要が決まる前に図書コーナーの枠組みが決まることになるが、図書館に関する検討内容とどのように整合させるのか。
- 合同ワークショップを有意義に行うためにも、図書館の検討内容や出された意見を市民センター改修ワークショップ内でも共有してほしい。逆に市民センターワークショップでの意見も、図書館ワークショップで共有いただきたい。

<ワークショップの手法に関して>

- ワークショップは議論をしまとめる場ではないとのことだが、参加者に求められていることやその成果は何か。
- 市民同士で議論を行わないのであれば、ワークショップとして行う意味がなくなってしまう。
- ワークショップは、参加者がそれぞれの意見を出し合う場であり、意見を集約してまとめあげる場ではないと思う。
- ワークショップは意見交換を通して、何かしらの成果を得るための場だと思う。
- 今後の市民センターをつかっていくうえで、ワークショップ内で議論を行い、市民が相互理解をすることは非常に重要。
- 事業者には、ワークショップの回数を限らないで、ファシリテーターとしてワークショップでの意見をきちんとまとめてほしい。

<市民センターのコンセプトに関して>

- 市民センターにどのような機能を設けるのか話し合うには、コンセプトの設定が必要。
- 限られたスペースを図書館と取り合っても意味がない。どんな市民センターをつくりたいかというコンセプトを先行して検討すべき。
- 本ワークショップのなかで、コンセプトに関する話し合いを行うべき。
- 「市民センターを考える市民の会」の市民提案書に書かれてあるコンセプトをたたき台として使っていただきたい。

回答

第3回以降のワークショップ資料として、Web アンケートを含めた基礎調査資料を4点配付いたします。（市民 Web アンケート・利用団体アンケート・こまめくぼアンケート・利用状況調査）また、記入いただいた自由意見に関しては、全て掲載しております。基礎調査資料については市ホームページでも掲載しますので、ワークショップ参加者以外もぜひご覧ください。

第4回ワークショップでは市民センターの具体的な部屋・スペースについて検討する予定ですが、その際には図書コーナーの面積を仮設定した上で話し合ってください。第5回は図書館ワークショップと合同開催し市民センターに設置する図書コーナーに関して話し合ってください。

図書館ワークショップ・新図書館整備基本構想検討委員会と足並みをそろえて図書コーナー機能の検討を進め、市民センター改修と新図書館整備の基本構想策定時期を合わせて整合を図っていきます。

また、第3回以降、意見の参考としていただけるよう図書館側のワークショップスライドや意見のまとめについて配付します。

ワークショップは、参加者の皆様から広く意見をいただく場として設定しています。

グループワークでは参加者同士の話し合いにより新しい視点を得るためにも意見交換していただきます。グループワークの中では、個人で意見を考えた上で、グループ内での意見交換や考えを整理する時間を設けます。ぜひそれぞれの意見を尊重し合い、活発な議論を交わしてください。

ワークショップは全7回を想定していますが、その中でいただいた様々な意見については、事務局が中心となって適切に整理し、まとめていきます。

狛江市民センター改修等基本方針の中にある「人生100年代に向けた生涯学習と市民活動の連携」がコンセプトの一つであると考えています。また、市民センターを考える市民の会の市民提案書にも「SMALL is COOL」というコンセプトや「いつでも、誰でも、ひとりでも～市民が育ちあう学び・憩い・交流の場～」という具体的な提案をいただいています。

第3回ワークショップの際にコンセプトの振り返りをさせていただきます。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：03-3430-1111

〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5

狛江市政策室・公民館・図書館

市HP



第2回ワークショップ 「狛江市全体の図書館のあり方を考えよう！」 市全体で重視すべきサービスは？ 期待する利用者層や使い方は？



令和3年10月31日(日)、第2回「狛江市の新図書館を考える市民ワークショップ」を開催し、総勢19名の方にご参加いただきました。
現在、狛江市では市全体での図書館のあり方や新図書館の整備、市民センターの改修について検討を進めており、本ワークショップは、新しく整備される図書館に導入される機能やスペース等についてご意見をいただくことを目的としています。
今回のテーマは「今後のサービスや利用者層の方向性を考えよう」。皆さんに市及び図書館の現状やワークショップの流れについて説明の後、グループワーク開始！
グループワークでは、4チームに分かれて話し合っていたいただきました。もっと多くの人に図書館を使っていたくには、どのようなサービスを重視すべきかなど、狛江市らしい図書館のあり方に関して議論いただきました。
グループワークの後は、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）



金木犀チーム



- ・司書を充実させてどんな本があるかをきちんと説明、様々な講座も開催
- ・貸出業務等を機械化 ・市民の持つ資料も活かして蔵書を充実
- ・ゆったりしたスペースや視覚障がい者のための録音スペースを確保
- ・子育て世代のための読み聞かせコーナーや、学生向けの漫画本の名著、高齢者向けの電子書籍を提供

- ・本の貸出だけでなく知の拠点としてのサービスを提供
- ・電子書籍を充実 ・電子書籍では読みたい本が見当たらない
- ・レファレンスサービスや来館できない人への貸出サービスを充実
- ・講演会、映画上映会、ワークショップ、演奏会などのイベントを開催
- ・ゆったりくつろげるスペースを確保 ・バリアフリー対応
- ・子どもが遠慮せず声を出ることができる図書コーナーを整備

どんぐりチーム



- ・子どもや家族連れがゆったりくつろげる図書館（武蔵野プレイスや大和市のシリウスの小型版が理想）
- ・使い勝手の良い図書館を目指し、図書の配送サービスや駅での貸出返却サービスなどを展開
- ・現在の市立図書館では置いていない漫画も提供

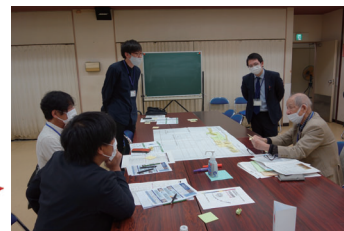


赤とんぼチーム



- ・リアルな本から電子書籍に重点を移し、蔵書数は減らす
- ・子育て世代がワイワイしたり読み聞かせができる場所を提供
- ・働き盛り世代がワーキングスペースとして活用できる設備などを充実
- ・「コミュニティ形成の場」として、本だけではなくカフェなどを設置
- ・高齢者などを取り残さないよう、移動図書館や司書でフォロー

もみじチーム



次回予告！

第3回のワークショップは令和3年12月12日に実施します。テーマは「図書館・図書室それぞれの役割を考えよう！」です。今回のワークショップで挙げられた意見をふまえ、今後目指す方向性を実現するために新図書館・市民センター図書コーナー・地域センター等図書室のそれぞれがどのような役割を担うべきかについて議論を深めていきます。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：03-3430-1111 〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5 狛江市政策室・公民館・図書館



8月31日に発行した「かわら版」第1号の内容を以下のとおり訂正させていただきます。(訂正前)「グループワークの後は、各チームで話し合った内容を全体で共有するため、発表していただきました。」(訂正後)「グループワークでは、個人の意見をふせんに書き、ホワイトボードに貼って、チームごとに発表していただきました。」(訂正前)「市民ワークショップでのご意見まとめ(一部抜粋)」(訂正後)「市民ワークショップでのご意見(一部抜粋)」